

書名	日本の古代史 飛鳥の謎を旅する		著者名				
出版社	宝島社	ISBN	978-4-8002-4459-8	本体価格	¥920	発売	2015/8/25
内容	古墳時代の終焉から118年間、日本の政治・文化の中心地であった飛鳥(奈良県・明日香村周辺)。万葉集に多く詠まれたのどかな日本の原風景の中に、日本最古の本格的な大寺院・飛鳥寺、聖徳太子の生誕地・橘寺、“飛鳥美人”で知られる高松塚古墳、蘇我馬子の墓とされる石舞台古墳など、古代ロマンあふれる史跡が散在しています。本誌では「飛鳥時代」の歴史解説を中心に、万葉集の風景、史跡、謎の石造物などをビジュアル満載で紹介いたします。						

書名	歴史のなかの石造物 人間・死者・神仏をつなぐ		著者名	山川均／著			
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-08281-5	本体価格	¥2,500	発売	2015/8/1
内容	中世に造られ今も各地に残る、層塔・石仏・五輪塔…。当時の人々は“石”にどんな思いを込めたのか。文献資料を駆使し、石造物造立の背景にあった人間と異界・死者・神仏が複雑に織り成す濃厚で複雑なストーリーを描く。						

書名	シカの脅威と森の未来 シカ柵による植生保全の有効性と限界		著者名	前迫ゆり／編 高槻成紀／編			
出版社	文一総合出版	ISBN	978-4-8299-6525-2	本体価格	¥3,000	発売	2015/8/1
内容	シカから森を守る「シカ柵」を有効に活用するために必要なこととは？各地からの報告をふまえ日本の凛々とシカの「今」をまとめる						

書名	甲の文化史 日本人の鎮魂の形		著者名	川村邦光／著			
出版社	中央公論新社	ISBN	978-4-12-102334-6	本体価格	¥800	発売	2015/8/27
内容	古代から源信、蓮如らによる甲の作法を辿り、現在まで続く巫女の口寄せ、絵馬や花嫁・花婿人形の奉納などの風習に鎮魂の形を探る						

書名	日本庭園の歴史と文化			著者名	小野健吉/著		
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-01651-3	本体価格	¥3,500	発売	2015/8/25
内容	古代から近代まで、多様な視点からの庭園研究の成果をカラー図版とともに紹介。豊かな風土の中で育まれた庭園の歴史と文化を解明。						

書名	聖徳太子 世間は虚仮にして			著者名	三田誠広/著		
出版社	河出書房新社	ISBN	978-4-309-02402-8	本体価格	¥2,100	発売	2015/8/18
内容	哲学者、仏教学者の見識を持ち、理想主義を胸に秘めながら、政治の世界では綱渡りのような危うい立場だった聖徳太子の謎の生涯。						

書名	与楽の飯 — 東大寺造仏所炊屋私記			著者名	澤田瞳子/著		
出版社	光文社	ISBN	978-4-334-91042-6	本体価格	¥1,600	発売	2015/8/17
内容	天平19年、東大寺の大仏を造営する造仏所には、他所からわざわざ多くの人が食べにくる旨い食堂があった。造仏所の仕丁として徴発されてきた21歳の真楯は、奴婢の舎薩が大仏の台座の外型を砕き、欠片を盗んで逃げるところを目撃する。欠片など盗んで何に使おうというのか。造仏所炊屋炊男の宮麻呂は、何かを知っていそうだが……。気鋭の時代小説家が送る傑作連作短編集。						

書名	奈良市の昭和			著者名			
出版社	樹林舎	ISBN	978-4-902731-82-8	本体価格	¥9,250	発売	2015/8/8
内容	町の中心部だけでなく、郊外まで隈なく取材した珠玉の写真集です。これほどの枚数を収録したものは、他にはありません。思い出の風景をご堪能いただけます。						